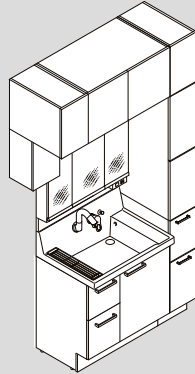


LIXIL

洗面化粧台

ピアラ K1シリーズ 取扱説明書



保証書付



このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

- ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 取扱説明書にはご使用方法などを掲載しています。お手入れの内容は別冊「お手入れガイド」に掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

もくじ

- | | |
|-----------------|-------|
| 1 各部のなまえ | はじめに |
| 3 安全上のご注意 | |
| 5 使用時のご注意 | |
| 7 許容重量 | |
| 9 ご使用方法 | 使い方 |
| 9 ・排水栓 | |
| 9 ・扉裏ポケット | |
| 9 ・ウェットパレット | |
| 9 ・体重計収納 | |
| 10 ・プッシュラッチ扉 | |
| 10 ・棚板 | |
| 11 ・引出し | |
| 11 ・ステップスライド | |
| 13 ・オープンランドリー | |
| 13 ・オプション機能 | |
| 14 長くお使いいただくために | 必要なとき |
| 14 ・水の量の調節 | |
| 15 ・扉の調節 | |
| 16 ・引出しの調節 | |
| 19 ・タオル掛の調節 | |
| 19 冬期凍結の恐れがある場合 | |
| 20 故障かな?と思ったら | |
| 21 アフターサービスについて | |
| 21 ・修理を依頼される前に | |
| 21 ・修理を依頼されるとき | |
| 21 ・品番を調べる | |
| 22 仕様 | その他 |
| 25 オプション品・交換部品 | |
| 25 廃棄について | |
| 26 保証書 | |

●取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

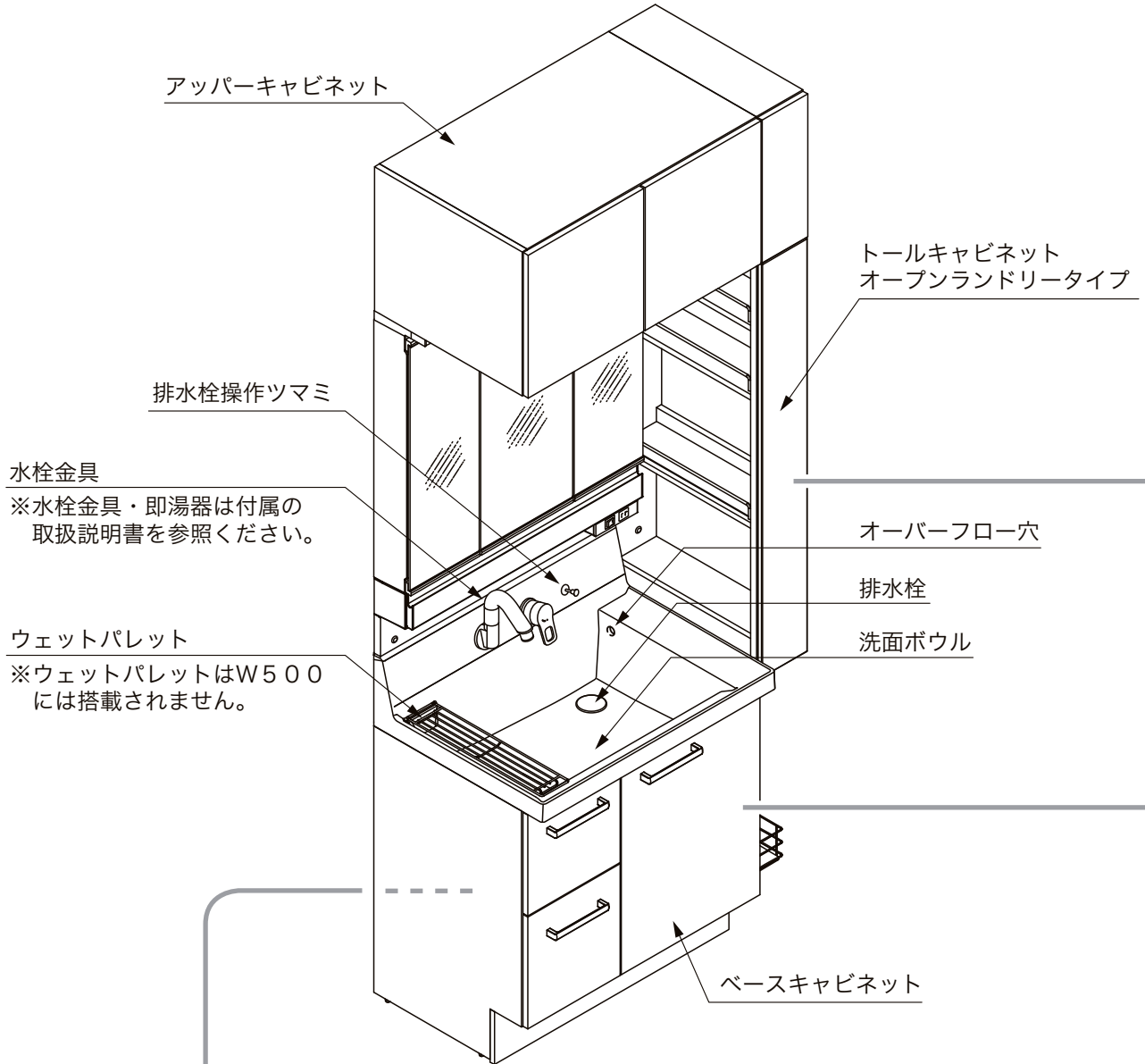
※この取扱説明書とお手入れガイド、水栓金具・機器類の取扱説明書は必要なときにすぐ取り出せる場所へ保管してください。

※転居される場合、次に入居される方にこの説明書とお手入れガイドをお渡しください。

取付業者さまへ 取扱説明書とお手入れガイドは必ずお客さまにお渡しください。

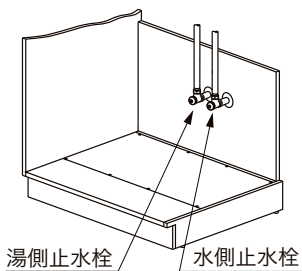
各部のなまえ

- 商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
- 図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。
(シリーズによりウェットパレット、扉裏ポケット等の付属品が標準装備されない場合があります。)

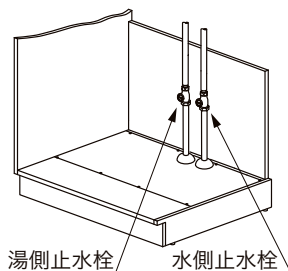


配管の種類

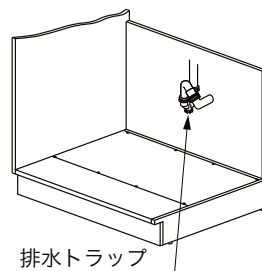
●壁給水



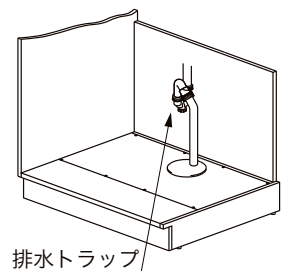
●床給水



●壁排水

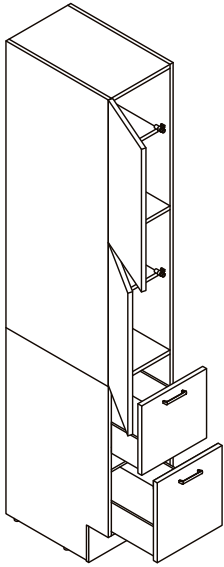


●床排水

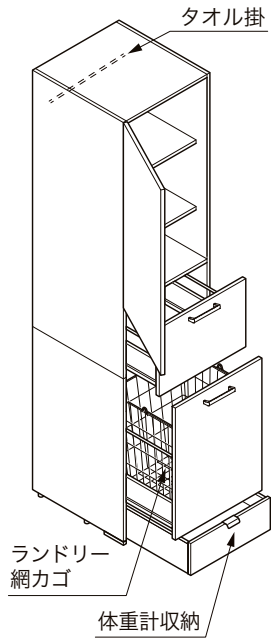


トールキャビネットの種類

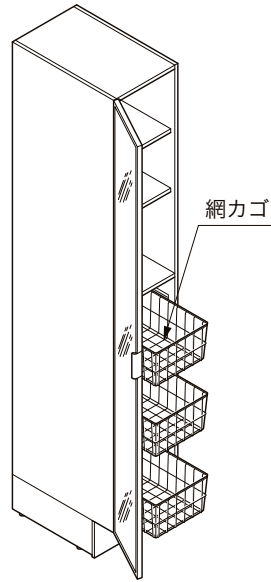
●標準タイプ



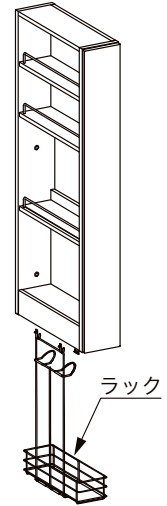
●ランドリータイプ



●姿見タイプ

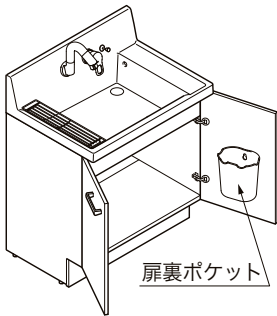


●オープンランドリータイプ

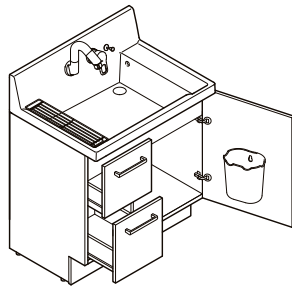


化粧台の種類

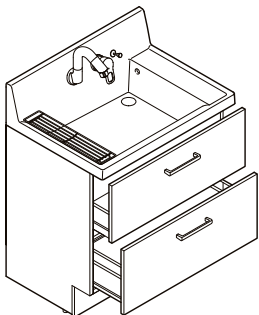
●扉タイプ



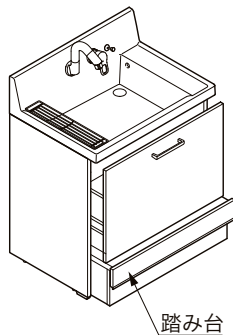
●引出タイプ



●フルスライドタイプ

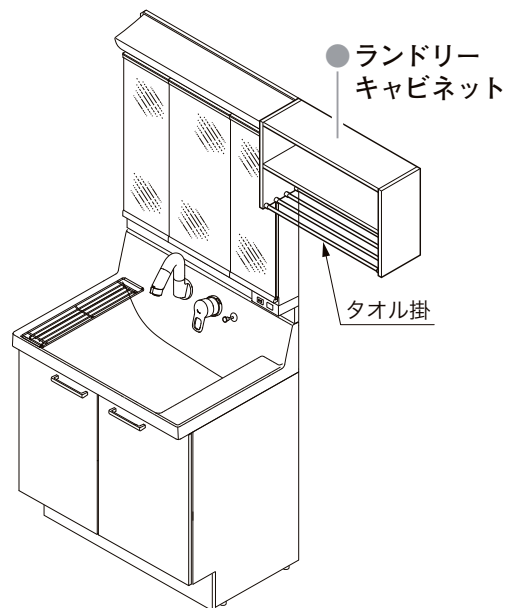


●ステップスライドタイプ



※扉裏ポケットは扉タイプ、引出タイプのみ搭載。

その他周辺キャビネットの種類



安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書および製品本体表示をご覧のうえ、ご使用ください。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。



警告

全体



- 改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※漏水の恐れがあります。



注意

全体



- 製品を傷つける洗剤や有機溶剤などは絶対に使用しない。
※破損・漏水・変色・サビの原因になります。
 - ・有機溶剤(シンナー・ラッカーなど)
 - ・除光液
 - ・漂白剤
 - ・ぬめり取り剤
 - ・薬品(アルコール、塩酸など)
 - ・酸性/アルカリ性/塩素系の洗剤

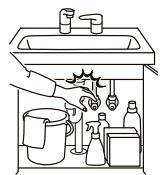
- 排水口にシンナーなどの有機溶剤や薬品を流さない。
※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。



- 洗面ボウル、引出し、扉、取っ手などに乗ったり、ぶら下がったりしない。
※部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。



- お湯の使用時、使用直後はキャビネット内の給湯管に触らない。
※ヤケドをする恐れがあります。



- 商品のごタツキや破損、故障が起きた場合は、すぐに使用を中止し、修理を依頼する。(☎21ページ)
※使用を続けると、より大きな損害やケガの恐れがあります。
※電気機器が組み込まれた化粧台では、使用中の際に必ずスイッチを切り電源プラグを抜いてください。

- 洗剤や洗浄剤などはそれぞれの「使用上の注意」に従う。
※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。



- 扉や引出しの角などに腕をぶつけないように注意する。
※ケガをする恐れがあります。



- 化粧品・除光液・うがい薬・洗剤などが付着したら、すぐに拭き取る。
※除光液、クレンジング剤などの化粧品、整髪料、毛染剤、脱色剤、うがい薬、芳香剤、漂白剤、洗剤などは、製品に悪影響を与えるものもあります。
※ヒビ割れや変形が発生して部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。
※金属部分も付着したままにすると、サビや汚れの固着の原因になります。



- キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉め、保管方法に注意する。
※腐食性ガスが発生すると、蝶番・レールのサビや動作不良の原因になります。
キャビネットや容器に付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)
	「分解してはいけません！」

	「指示した場所に触れてはいけません！」
	「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

注意

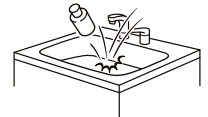
洗面ボウル



- 洗面ボウルに熱湯を注がない。
※急激な温度変化により洗面ボウルが割れて漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。



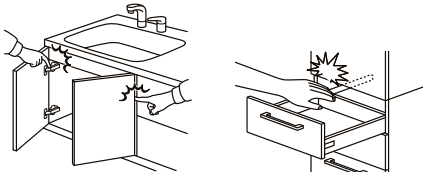
- 洗面ボウルに重いものや固いものを落とさない。
※洗面ボウルが割れてケガをする恐れがあります。また、漏水により家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



キャビネット



- 扉を大きく開けすぎない。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。
- 扉の隙間に指を入れたり、レールや蝶番の可動部に触ったりしない。
※開閉時に指を挟みケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時は特に注意してください。



- 鏡やアルミ枠扉に手をついたり、たたいたりしない。
※鏡や樹脂板が割れてケガをする恐れがあります。
- ランドリーキャビネットのタオル掛、ハンガーにぶら下がったり、掛けたタオルなどを強く引っ張ったりしない。
※バーが破損・変形して落下し、ケガをする恐れがあります。



- 扉が傾いたり、ガタついたりする場合は、扉の調節を行う。
(☞ 15ページ)
※扉が外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 注意

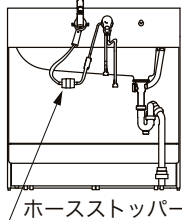
水栓金具



- 水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。



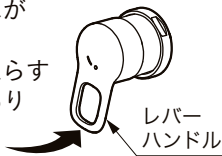
- 水栓金具のホースストッパーは位置をずらさない。
※ホースが出すぎると水が洗面ボウルからこぼれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



- 体格や身体状況により、洗面・洗髪時に化粧台と頭などが接近するため、頭などをぶつけないように注意する。
※ケガをする恐れがあります。

- 凍結が予想される場合は、必ず水抜きを実施する。(P.19ページ)
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

- 断水時は水栓金具のレバーハンドルを必ず「止水」の位置にする。
※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などをぬらす拡大損害の恐れがあります。

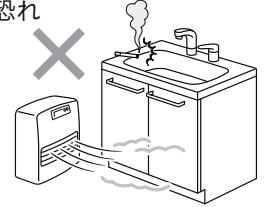


使用時のご注意

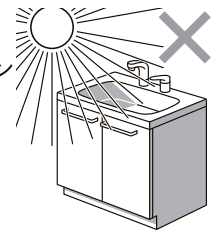
故障をおこさないためにお守りください

全体

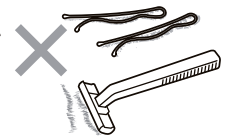
- ヒーターなどの暖房器具やタバコ・マッチなどの火気を近づけない。
※変形やコゲ跡が付く恐れがあります。



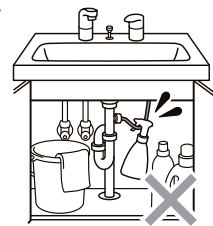
- 直射日光やスポット照明・殺菌灯などを当てない。
※変色や変形の恐れがあります。直射日光はカーテンなどで必ずさえぎってください。



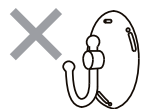
- ヘアピンやカミソリの刃などの金属類を放置しない。
※サビが取れなくなる恐れがあります。



- 排水器具のリリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしない。また、収納物が接触しないように注意する。
※リリースワイヤーが切断・破損して、排水栓が開閉できなくなる恐れがあります。



- 吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置などを使用しない。
※吸盤を貼った周辺が変色する恐れがあります。



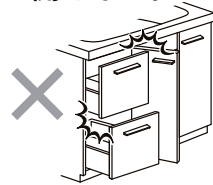
キャビネット

- キャビネットに水などをこぼさない。
ぬれたらすぐに拭き取る。

※表面だけでなく、水がたまりやすい上下端部も拭き取ってください。
※木質でできていますので、水を含んで膨れたり、表面材が剥がれたりする原因になります。

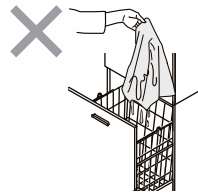


- 隣合う引出しや扉は同時に開けない。
※扉同士が接触して破損する恐れがあります。



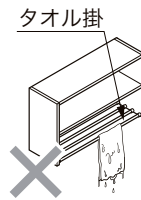
- ランドリー網カゴにぬれた洗濯物などを入れない。

※カゴがさびたり、木部が水を含んで膨れたりする原因になります。

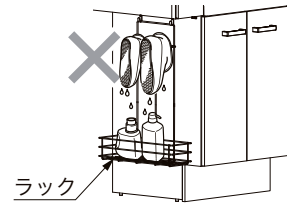


- 収納物は十分に水気を落として収納する。

※周囲のキャビネットが水を含んで膨れたり、表面材が剥がれたりする原因になります。



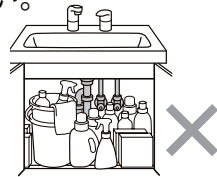
ランドリーキャビネット



オープンランドリー

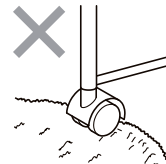
- キャビネット内の配管や配線に収納物などで無理な力を加えない。

※漏水、発熱、発火の恐れがあります。



- キャスターの前や下に毛足の長いカーペットやバスマットを敷かない。

※キャスターに糸が絡み動きにくくなる恐れがあります。
● ステップスライド 踏み台収納
● トールキャビネット
● ランドリータイプ 体重計収納

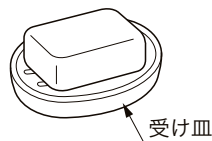


洗面ボウル・カウンター

- 洗面ボウルに直接石けんを置かない。
必ず受け皿を使用する。

- ハンドソープ容器や受け皿の下は石けんカスがたまりやすいので、こまめに拭き取る。

※石けんカスが付いたまま長時間放置すると、洗面ボウルが変色したり光沢がなくなったりする恐れがあります。



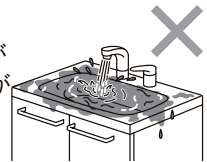
- カウンター、洗面ボウルのデッキ面にぬれたものを長時間放置しない。

※変色したり、膨れたりする恐れがあります。

水栓金具

- 水ためは「整流」で行う。

※シャワーで行うと、水面が波立ち水があふれる恐れがあります。



- 水ハネが多い場合は水の量を調節する。
(☞14ページ)

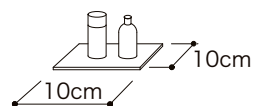


許容重量

※許容重量は、均等に物を載せた場合の値です。

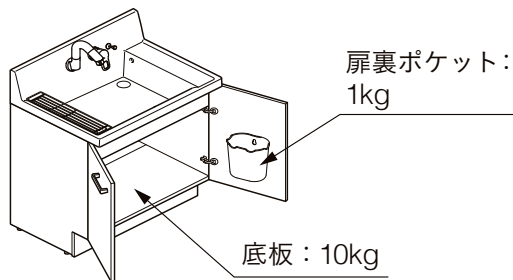
- 下記の許容重量を超えないように使用してください。
過剰に収納すると変形・破損し、ケガの原因になります。

- 下記以外の棚板、底板、引出しなどは、10cm×10cm (100cm²)あたり0.5kgです。

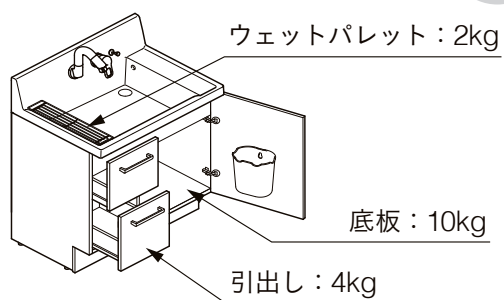


ベースキャビネット

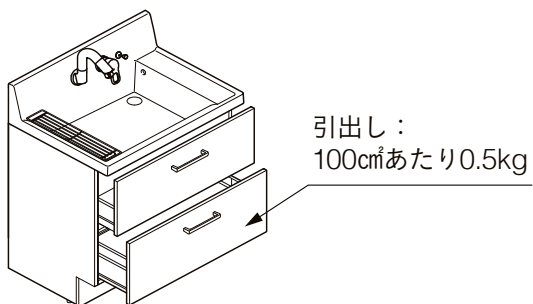
扉タイプ



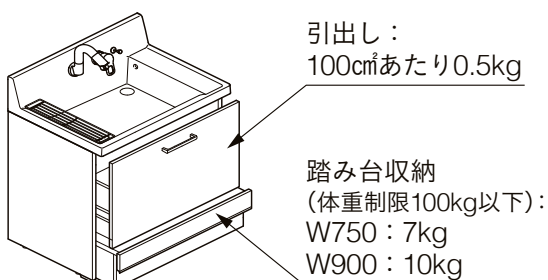
引出タイプ



フルスライドタイプ

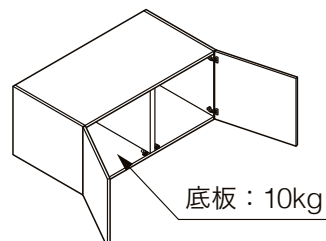


ステップスライドタイプ

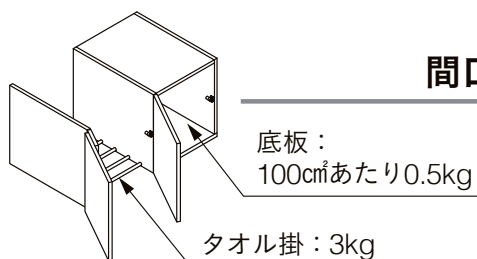


アッパーキャビネット

標準タイプ



間口調整付

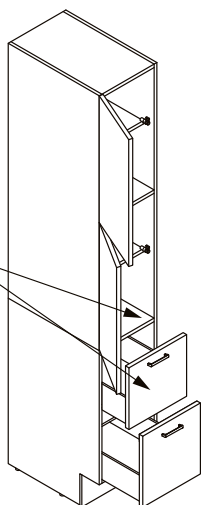


トールキャビネット

標準タイプ

棚板・底板・引出し：
100cm²あたり0.5kg

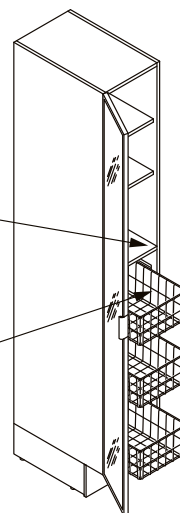
タオル掛：3kg



姿見タイプ

棚板・底板：
100cm²あたり0.5kg

網カゴ：各4kg

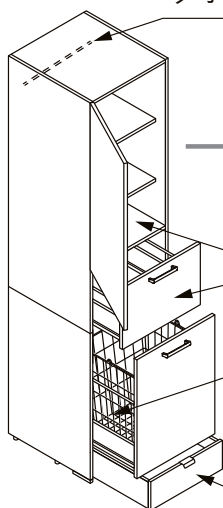


ランドリータイプ

棚板・底板・引出し：
100cm²あたり0.5kg

ランドリー網カゴ：10kg

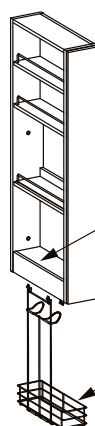
体重計収納(W450間口のみ)：
計量範囲15~80kg



オープンランドリータイプ

棚板・底板：
100cm²あたり0.5kg

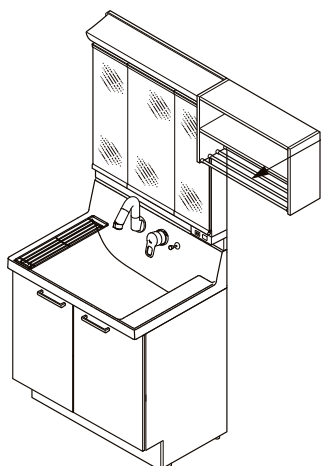
ラック：5kg



ランドリーキャビネット

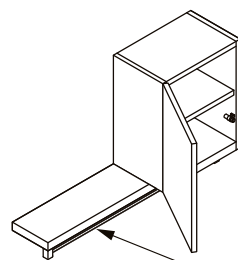
オープンタイプ

タオル掛：3kg



間口調整付

タオル掛：3kg

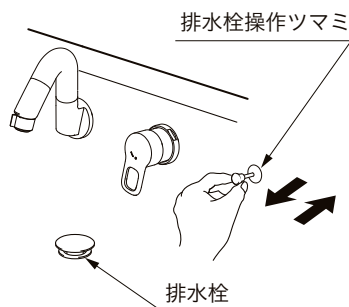


ご使用方法

排水栓

■ 開け方

- 排水栓操作ツマミを引く。



■ 閉じ方

- 排水栓操作ツマミを押す。

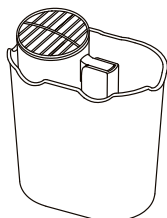
砂などがかみ排水栓が上がらない場合は、排水栓に布粘着テープを貼り、持ち上げてください。

扉裏ポケット

ドライヤーを収納する

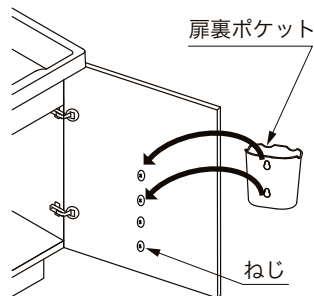
〈収納例〉

- 柄を折りたたんで中に入れる。
- ドライヤーの柄を外に出す。



取付高さを変更する

- 上下に連続して並んだねじ2本に扉裏ポケットの穴を引っ掛ける。
※引っ掛ける高さを3段階で変えられます。



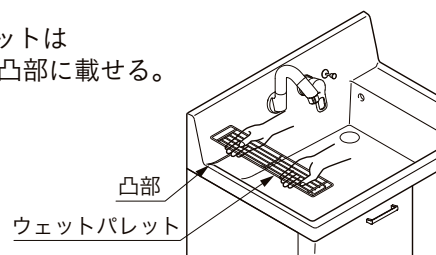
⚠ 注意



使用直後のヘアアイロンは収納しない。
※破損・変形する恐れがあります。

ウェットパレット

- ウェットパレットは洗面ボウルの凸部に載せる。



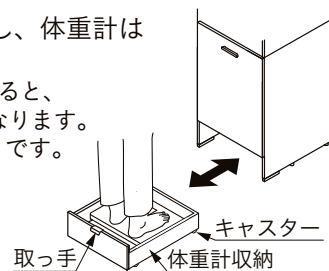
⚠ 注意



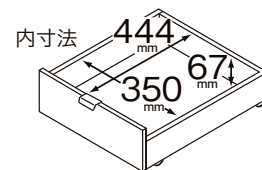
- ウェットパレットについているチューブは外さない。
※洗面ボウルにキズがつく恐れがあります。
- ポンプタイプの石けんなど、使用時に力の加わるものをウェットパレットに載せたまま使用しない。
※破損・変形する恐れがあります。
※許容重量2kg以下。

体重計収納

- ① 取っ手を持って引き出し、体重計はそのまま測る。
※15kg以上の重みがかかると、キャスターが動かなくなります。
※計量範囲は15kg~80kgです。



- ② 使用後は必ず収納する。
※収納する体重計の寸法は、内寸法を参考にしてください。



⚠ 注意



- 体重計収納には勢いをつけて乗り降りしない。
- お子さまや体重15kg未満の方は使用しない。
- 縁に足をかけたり、乗ったりしない。
- 床がぬれているときや体がぬれているときは使用しない。
※体重計収納が動き、転倒してケガをする恐れがあります。



- 体重計収納の角に身体をぶつけないように注意する。
- 使用後はキャビネット内に確実に収納する。
- 高齢の方が使用するときには必ず付き添う。
※ケガをする恐れがあります。

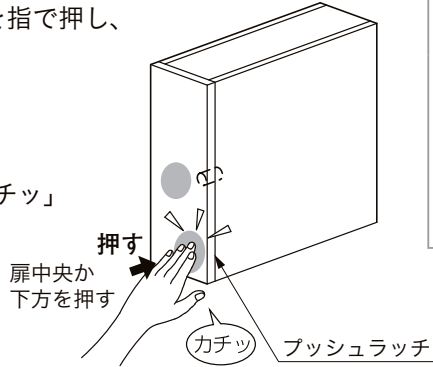
プッシュラッチ扉

■ 開け方

- プッシュラッチ付近を指で押し、ロックを解除する。

■ 閉じ方

- プッシュラッチが「カチッ」と音がするまで扉を押し込む。



プッシュラッチ付のキャビネット

- ミドルキャビネット
- アッパーキャビネット
- トールキャビネット(オープンランドリータイプは除く)
- ランドリーキャビネット(間口調整付)
- アッパーキャビネット(間口調整付)

棚板

- 棚板を取り付ける前にキャビネット側面の取付穴に棚ダボ・棚受け(1枚につき4個)をしっかり奥まで差し込む。

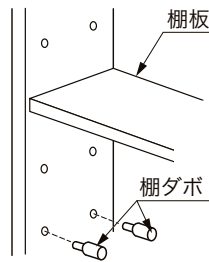
〈トールキャビネットの場合〉

■ 取外し方

- 棚板を上へ持ち上げる。

■ 取付け方

- 同じ高さの位置に棚ダボを取り付け、その上に棚板を載せる。



⚠ 注意



棚ダボや棚受けは確実に奥まで差し込む。
※棚板や収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。
※取付後は、しっかりはまっていることを確認してください。

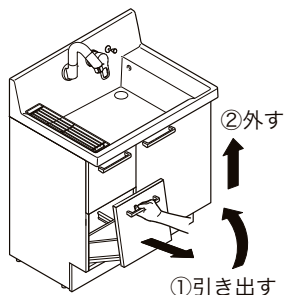
ご使用方法

引出し

〈引出しタイプの場合〉
 〈ツールキャビネット(標準タイプ)の場合〉

■ 取外し方

- ① 引出しを最後まで引き出す。
- ② 引出しを持ち上げて外す。



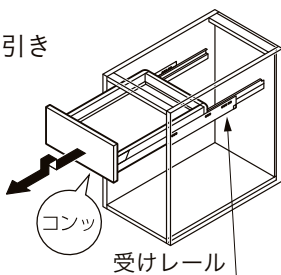
■ 取付け方

- 取外しと逆の手順で取り付ける。

〈フルスライドタイプの場合〉
 〈ステップスライドタイプ(上段引出し)の場合〉
 〈ツールキャビネット(ランドリータイプ)の場合〉

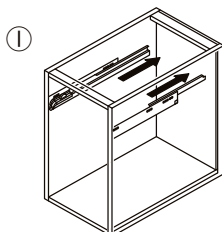
■ 取外し方

- 引出しを止まるまで引き出し、一度上に持ち上げ(コンツという音がしてロックが外されます)、さらに手前へ引き出す。

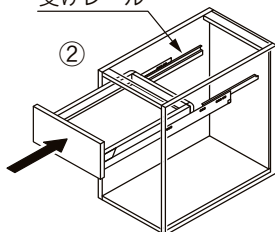


■ 取付け方

- ① ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込む。
- ② 引出しを受けレールに載せ奥まで押し込む。
 ※その際カチャカチャと音がしてロックされます。



- ③ 取付後は、数回開閉させ正しく取り付けられていることを確認する。
 ※使用中に外れてケガをする恐れがあります。



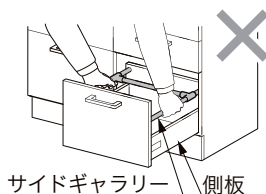
⚠ 注意



取り外すときは、サイドギャラリを持っていない。

※サイドギャラリーが外れて引出しが落下し、ケガをする恐れがあります。

※引出しの側板または底面を持って取り外してください。



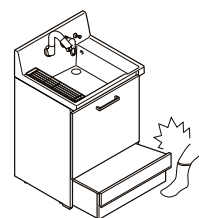
ステップスライド

⚠ 注意



踏み台に勢いよく乗ったり降りたりしない。
 ※転倒してケガをする恐れがあります。

- 小さなお子さまが使用するときには、付き添う。
- 踏み台の角に身体をぶつけないように注意する。



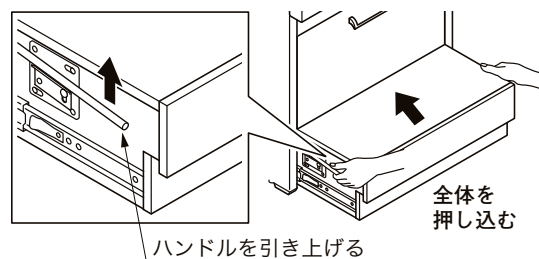
- 踏み台を出し入れするときは、指などを挟まないように注意する。
 ※ケガをする恐れがあります。
- 対象年齢：3歳以上(身長95cm以上)、
 体重制限：100kg以下
 ※上記を守らないと破損やケガの恐れがあります。

■ 踏み台収納の出し方

- ① 踏み台収納をロックするまで引き出す。
- ② ゆっくりと踏み台収納に乗る。
 ※クッションフロアで使用する場合、フロアにへこみが生じることがあります。

■ 踏み台収納の入れ方

- 左右にあるハンドルを引き上げ、ロックを解除し踏み台収納を押し込む。



⚠ 注意

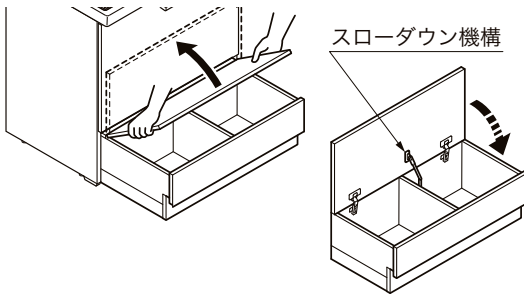


踏み台は「カチッ」音がするまで手前に引き出して、固定されていることを確認してから乗る。

※固定されていない状態で乗ると、踏み台が動いて転倒やケガの恐れがあります。

■ 収納部のフタの開け方

- 踏み台収納を引き出し、フタを持ち上げる。
※フタは両手で持ち上げてください。



■ 収納部のフタの閉め方

- フタを手前に倒す。
※スローダウン機構によりゆっくりフタが閉まります。

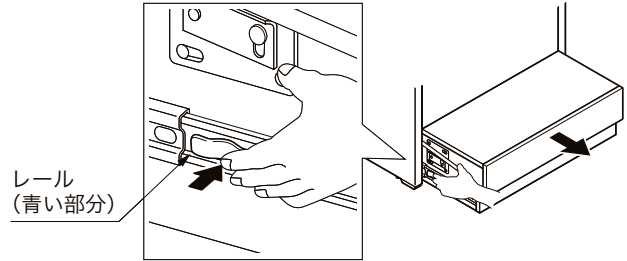
⚠ 注意



フタを閉めるときは指挟みに注意し、
ゆっくり閉める。
※フタを無理に押さえて閉めると指を挟んだり、
スローダウン機構が故障したりする恐れが
あります。

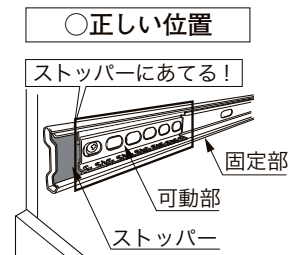
■ 踏み台収納の取外し方

- ① 踏み台収納を最後まで引き出す。
- ② 踏み台収納の左右にあるレールの青い部分を指で押さえながらさらに手前に引き、踏み台収納を取り外す。



■ 踏み台収納の取付け方

- ① キャビネット本体のレールを手前に引き出し、踏み台収納のレールと合わせる。
※レール内部の可動部の位置に注意して取り付けてください。
ずれた位置で取り付けた場合、レールが破損し、動作不良の原因となる恐れがあります。

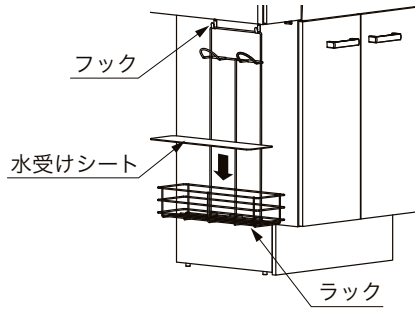


- ② 踏み台収納を押し込むとカチッと音がしてロックされる。
- ③ 踏み台収納の左右にあるハンドルを引き上げてロックを解除し、収納を奥まで押し込む。
- ④ 取付後は、数回出し入れさせ正しく取り付けられていることを確認する。
※使用中に外れてケガをする恐れがあります。

ご使用方法

オープンランドリー

- 化粧台側面のフックにラックの上端部分を引っ掛ける。



お願い

- ラックの底には、水受けシートを置いて使用する。
※床に水が浸り、膨れ、汚れの原因になります。

注意



- ラック収納に物を載せるときは勢いよく載せない。

オプション機能

シャワースクリーン(BB-AR3)

注意



シャワースクリーンに直接水をかけない。

※水がこぼれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

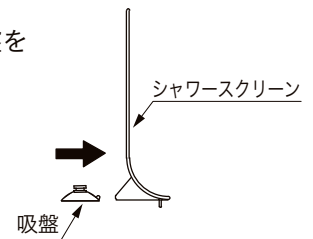
※シャワースクリーンは、洗面ボウル周辺への水ハネを抑えるものです。洗面ボウルから水があふれるのを防ぐことはできません。



- 吸盤を取り付ける洗面ボウルのホコリや水滴をよく拭き取ってください。
※取付面にホコリや水滴があると、吸盤の吸着力が弱くなります。

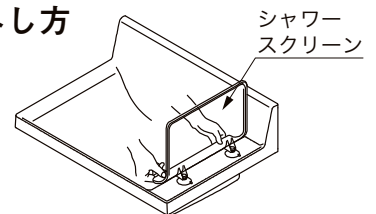
■ 平面への取付け方

- ① シャワースクリーンに吸盤を取り付ける。
- ② 吸盤を外側に向け、シャワースクリーンが垂直になるように、洗面ボウルに取り付ける。



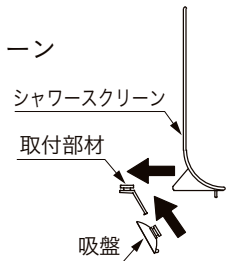
■ 平面からの取外し方

- 取付けと逆の手順で取り外す。



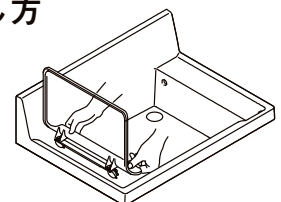
■ 斜面への取付け方

- ① 取付部材に吸盤とシャワースクリーンを取り付ける。
- ② 取付部材に取り付けた吸盤を洗面ボウルの端に取り付ける。



■ 斜面からの取外し方

- 取付けと逆の手順で取り外す。



長くお使いいただくために

水の量の調節

●水の量の調節は止水栓を操作して行ってください。

①水栓金具のレバーハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓(向かって左の調節部)をマイナスドライバーで回して適量に調節する。

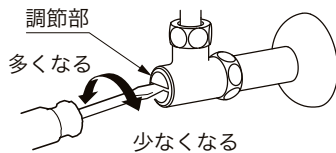
②水栓金具のレバーハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側いっぱいの量と同じになるよう、水側止水栓(向かって右の調節部)をマイナスドライバーで回して調節する。

③水栓金具のレバーハンドルを中央(湯と水の間)の位置で吐出し、水ハネを確認する。

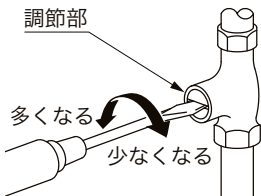
止水栓の操作

水の量を多くする……調節部を左に回す
水の量を少なくする…調節部を右に回す
閉める……………調節部を右に止まるまで回す

〈壁給水の場合〉



〈床給水の場合〉



※上記はドライバー式止水栓の例です。

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の量が一定量を超えた場合は、止水栓で調節してください。

※一定量(水の量の上限)は、水栓金具によって異なるため、取扱説明書をご確認のうえ、調節してください。

お願い

●メンテナンスなどで止水栓を閉めるときは何回転させたかを記録する。

※止水栓を元の位置に戻すときに必要です。

※元の位置に戻さないと設定が変わるため、湯温の変化や水があふれる恐れがあります。

長くお使いいただくために

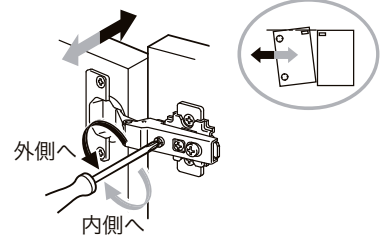
扉の調節

- 扉の調節は、蝶番のねじで行います。扉を取り外す必要はありません。
- 調節は、必ず手回しドライバーを使用してください。
- 両開きの場合で片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉を交互に調節してください。



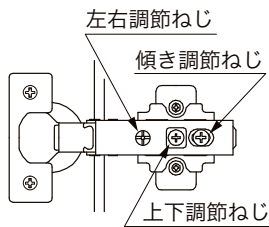
■ 左右の調節 (内側4mm、外側1mm)

左右の調節ねじを回し、扉を調節する。

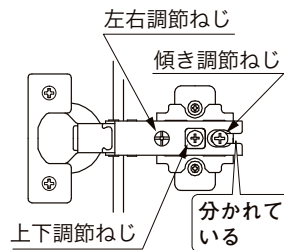


蝶番種類

〈タイプⅠ〉

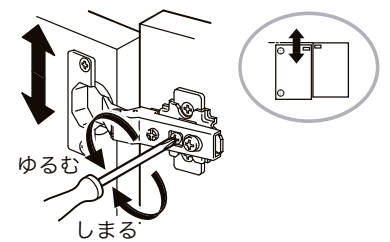


〈タイプⅡ〉



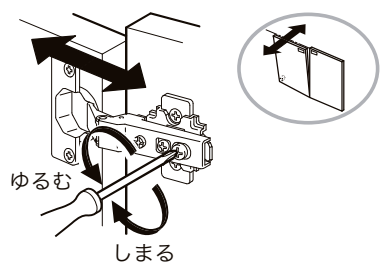
■ 上下の調節 (±1.5mm)

- ① 上下の調節ねじを軽く緩め、扉を動かして調節する。
- ② 上下調節ねじを締め直す。



■ 前後の傾き調節 (前2mm、後1mm)

- ① 傾き調節ねじを軽く緩め、扉を動かして調節する。
- ② 傾き調節ねじを締め直す。



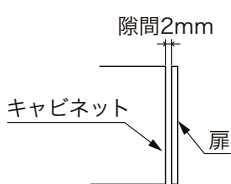
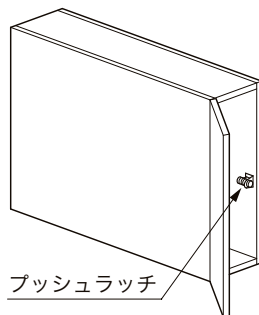
⚠ 注意



- 調節ねじ以外のねじを緩めたり、外したりしない。
- 調節後は、緩めたねじがしっかり締め付けられていることを確認する。
※扉が落下してケガをする恐れがあります。

プッシュラッチ扉

- 扉と本体の隙間が適切でないと、扉を開閉しにくいことがあります。
- プッシュラッチの出を調節して隙間を調節してください。

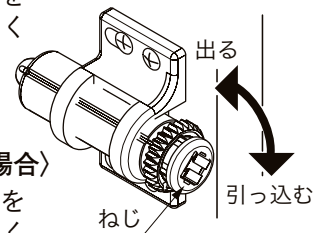


- ① 扉と本体の隙間を確認する。(基準値：隙間2mm)
- ② プッシュラッチを調節する。
- ③ 扉を開閉してプッシュラッチが正しく動作するか確認する。

プッシュラッチの調節方法

〈扉が閉まらない(反発して開く)場合〉

- プッシュラッチのねじを右に回し、隙間を小さくする。



〈扉を押しても開かない場合〉

- プッシュラッチのねじを左に回し、隙間を大きくする。

引出しの調節

- キャビネットタイプにより調節方法が異なります。11ページで該当タイプをご確認ください。
※体重計収納は調節できません。
- 引出しを調節する際は、引出し内の収納物をすべて取り出してから行ってください。
- 調節は、必ず手回しドライバーを使用してください。

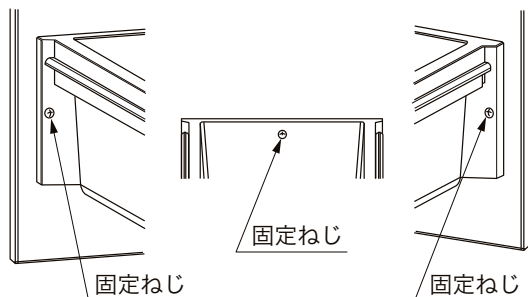
引出タイプ

■ 前板の調節

- 固定ねじを軽く緩めて、引出し前板を少しずつ動かして調節します。

① 引出しを取り外す。(☞11ページ)

② 図の位置にある左右中央の固定ねじを手回しドライバーで緩める。

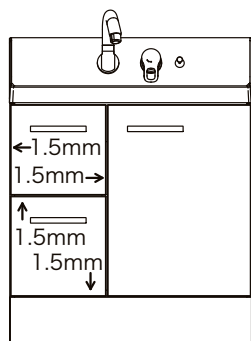


③ 左右上下に調節する。

前板の調節量

左右の調節…右へ1.5mm、
左へ1.5mm

上下の調節…上へ1.5mm、
下へ1.5mm

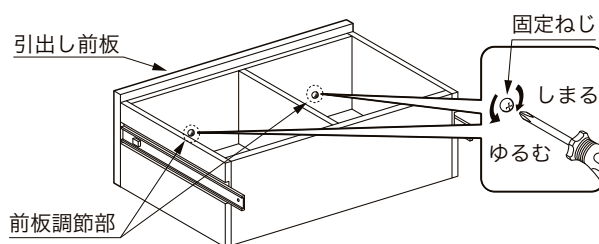


- ④ 手回しドライバーで固定ねじを締め付ける。
- ⑤ 引出しを取り付ける。
- ⑥ 正しい位置になるまで繰り返す。

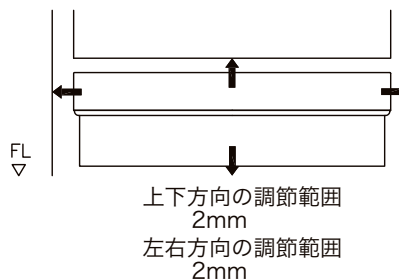
ステップスライドタイプ 踏み台収納

■ 左右上下の調節

① 前板調節部の固定ねじ2カ所を緩める。



② 引出し前板を上下、左右に動かして正しい位置にする。



③ 手順①で緩めた固定ねじを固く締め付ける。

⚠ 注意



調節後は、固定ねじが固く締め付けられていることを確認する。

※緩んでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

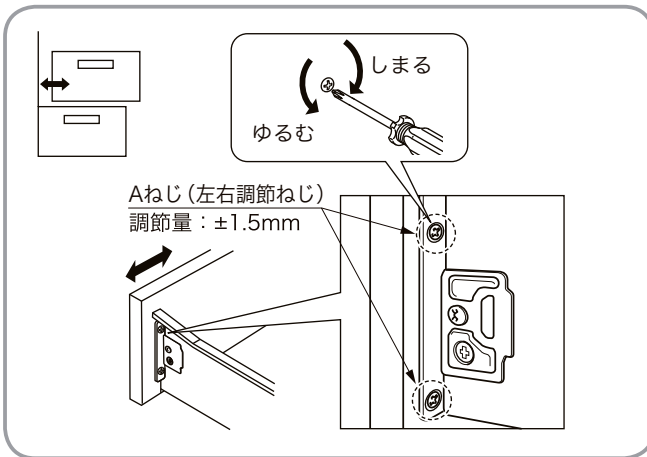
長くお使いいただくために

引出しの調節

ツールキャビネット(標準タイプ)

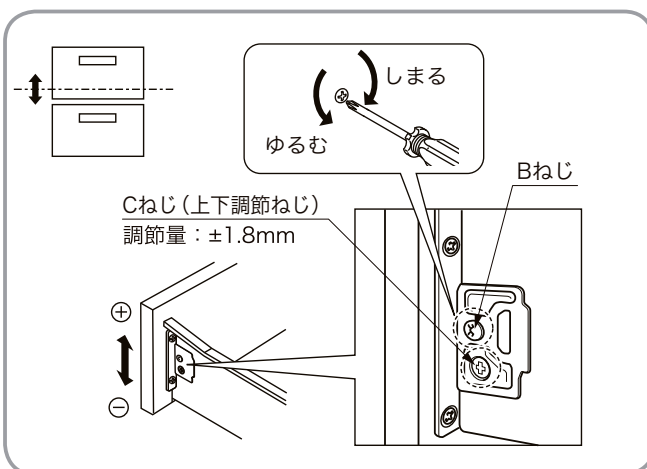
■ 左右の調節

- ① Aねじを4ヶ所すべて緩める。
- ② 引出し前板を左右に動かして調節する。
- ③ 手順①で緩めたAねじを固く締め付ける。



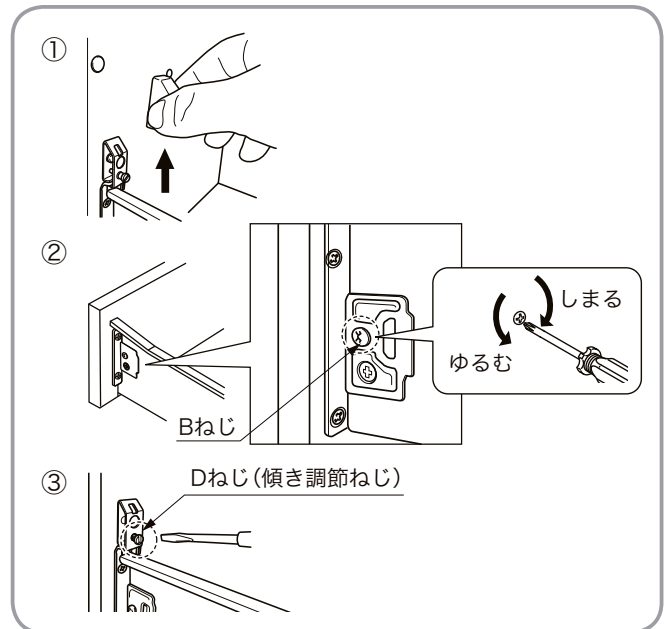
■ 上下の調節

- ① Bねじを緩める。
- ② Cねじを回して調節する。
 - 上に動かす場合: ねじを右に回す
 - 下に動かす場合: ねじを左に回す
- ③ 手順①で緩めたBねじを固く締め付ける。



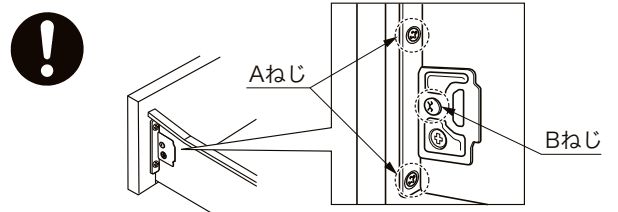
■ 前板の傾きの調節

- ① カバーを上に引き抜いて外す。
- ② Bねじを緩める。
- ③ Dねじを回して調節する。
 - 手前に倒す場合: ねじを右に回す
 - 後ろに倒す場合: ねじを左に回す
- ④ 手順②で緩めたBねじを固く締め付ける。
- ⑤ 手順①で外したカバーをはめ込む。



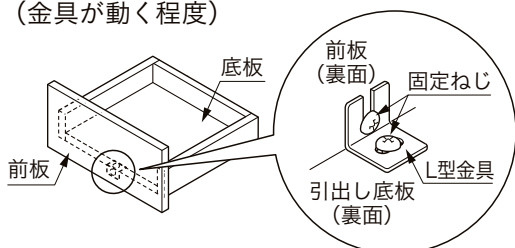
⚠ 注意

調節後は、必ずAねじ、Bねじが固く締め付けられていることを確認する。
※緩んでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。



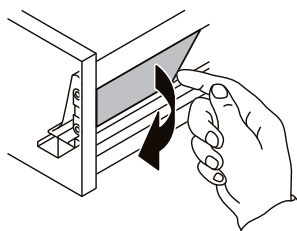
フルスライドタイプ・ステップスライドタイプ・トールキャビネット(ランドリータイプ)

- ①「前板の傾き調節」以外を行う場合、L型金具の固定ねじを緩める。
(金具が動く程度)



※「前板の傾き調節」を行う場合は、そのまま手順②へ進む。

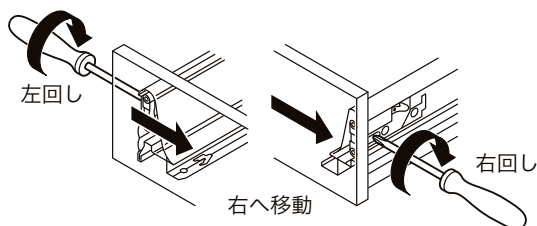
- ②引出し本体横の化粧カバーを取り外す。



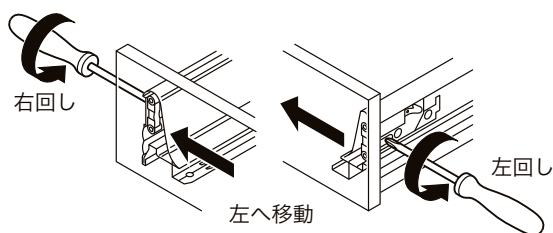
- ③目的に合わせて調節する。

■ 左右の調節

- 左右調節ねじを回し調節する。
- 右へ移動する：
左側ねじを左へ回し、右側ねじを右に回す。



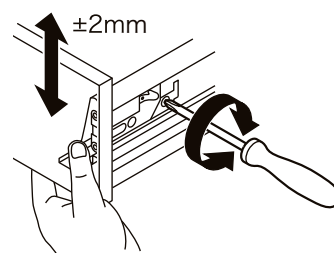
- 左へ移動する：
左側ねじを右へ回し、右側ねじを左に回す。



※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調節範囲：左右方向へ各1mm(計2mm)程度。

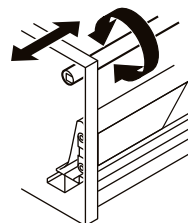
■ 上下の調節

- 上下調節ねじを回し調節する。
※調節範囲：上下方向に各2mm程度。



■ 前板の傾き調節

- サイドギャラリー(パイプ)を回し前板の傾きを調節する。
 - 前板を手前へ倒す：
左へ(前板正面から見て)回す。
 - 前板を後方へ倒す：
右へ(前板正面から見て)回す。
- ※サイドギャラリー後方の樹脂部品(グレー色)のねじ部に隙間が残りますが、この隙間は調節しろです。



- ④手順②で外した化粧カバーを取り付ける。

- ⑤手順①でL型金具の固定ねじを緩めた場合は、締め付け直す。

長くお使いいただくために

タオル掛の調節

ランドリーキャビネット・トールキャビネット(ランドリータイプ)

■ タオル掛が緩んだ場合

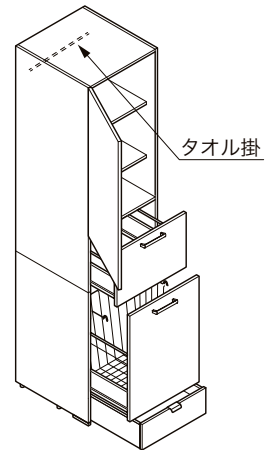
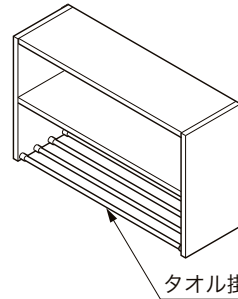
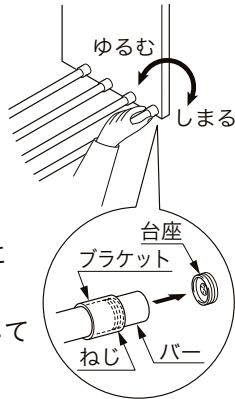
- ブラケットを右に回して締めなおす。
※ブラケットは、ねじ構造となっています。

・ランドリーキャビネット

・トールキャビネット
(ランドリータイプ)

■ タオル掛が外れた場合

- ① バーにブラケットを通す。
- ② バーの片側を台座に合わせて、ブラケットを右に回して緩めに仮付けをする。
- ③ バーの反対側も手順②と同様に取り付ける。
- ④ 左右のブラケットを締めなおしてしっかり固定する。



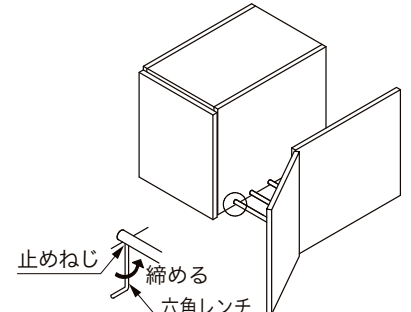
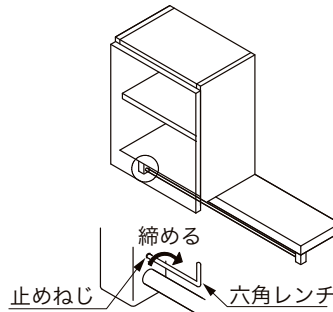
ランドリーキャビネット(間口調整付)・アップーキャビネット(間口調整付)

■ タオル掛が緩んだ場合

- 止めねじを六角レンチで右に回して締めなおす。

・ランドリーキャビネット
(間口調整付)

・アップーキャビネット
(間口調整付)



冬期凍結の恐れがある場合

水栓金具の水抜き

⚠ 注意

凍結が予想される場合は、次の対策を実施する。










- 水栓金具が一般地仕様の場合：水栓金具から少量の水を出したままにする。
- 水栓金具が寒冷地仕様の場合：建築側配管の水抜き操作後に、水栓金具のハンドルを全開にして水抜き操作を行う。
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。
※詳細な操作については、水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら…

修理を依頼される前に
下記項目をご確認ください。

※★については「お手入れガイド」をご覧ください。

こんなとき		対処方法
キャビネット	扉がガタついている。	● 蝶番調節用ねじを増締めしてください。  15ページ
	扉・引出し前板がずれている。	●ズレを調節してください。  15～18ページ
	タオル掛がゆるんでいる。	●ブラケットを固定しなおしてください。  19ページ
	プッシュラッチ扉が開閉しにくい。	●プッシュラッチの出を調節してください。  15ページ
水栓金具	水の出が悪い。	●止水栓を調節してください。  14ページ
	水ハネが多い。	●止水栓を調節してください。  14ページ
	水が止まらない。	●止水栓を閉めて修理を依頼してください。  14、21ページ
排水口	水がたまらない。	●排水栓のパッキンの向きや変形がないか確認してください。 —
	洗面器から水があふれる。	●止水栓を調節してください。  14ページ
	排水の流れが悪い。	●排水口、排水トラップを掃除してください。 ★
	排水栓が開閉しない。	●排水口まわりのゴミや砂を取り除いてください。  9ページ
	オーバーフロー穴から泡が出てくる。	●大量に泡を流した・泡立ちの良い洗剤を使用した時に起こる現象で異常ではありません。少し間をおき、泡が落ち着いてから流してください。 —
	水が抜けていく。	●多めに水ためをし、栓に水圧をかける。または、栓を手で軽く押し排水口に密着させることで抜けにくくすることができます。 —
排水トラップ	水が漏れている。	●排水トラップの締付ナット、掃除口を締めなおしてください。 ★

警告



改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※漏水の恐れがあります。

アフターサービスについて

修理を依頼される前に


- 商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(☞20ページ)を参照してください。
- それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

修理を依頼されるとき

まず保証書をご覧ください

- 保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は取付日から2年間です。
- 保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常などについては保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - 取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
 - 取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
 - 火災、地震、その他天災地変により生じたもの
 - 水栓金具や排水トラップの止水パッキンなどの消耗品

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときはお求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

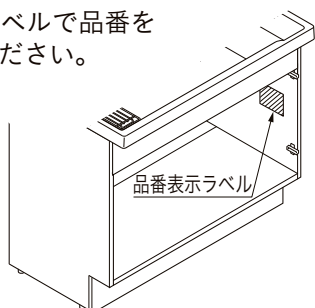
保証期間中の修理	修理に関しては必ず保証書をご提示ください。保証の規定に従って修理させていただきます。
保証期間経過後の修理	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。
連絡していただきたい内容	<ul style="list-style-type: none">●おなまえ・おところ・電話番号●商品名・品番(☞21ページ「品番を調べる」)●取付年月日(保証書に表示)●故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)(☞20ページ「故障かな?と思ったら」)●訪問ご希望日
修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先	<p>お求めの取扱店、LIXIL修理受付センターに連絡してください。</p> <ul style="list-style-type: none">●お求めの取扱店(保証書に表示)●LIXIL修理受付センター<ul style="list-style-type: none">■WEBサイトからの修理依頼はこちら ※24時間依頼可能 <p> <input type="button" value="リクシル修理"/> <input type="button" value="検索"/></p> <p>https://www.lixil.co.jp/support/</p> <ul style="list-style-type: none">■お電話でも修理を承ります 受付時間/9:00~19:00 <p>TEL ☎ 0120-179-411 FAX ☎ 0120-179-456</p>

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますので、ご了承願います。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品は代替品(仕様・形状・材質などが異なる部品)での提供となる場合があります。

品番を調べる

- 品番表示ラベルで品番を確認してください。



品番表示ラベル例

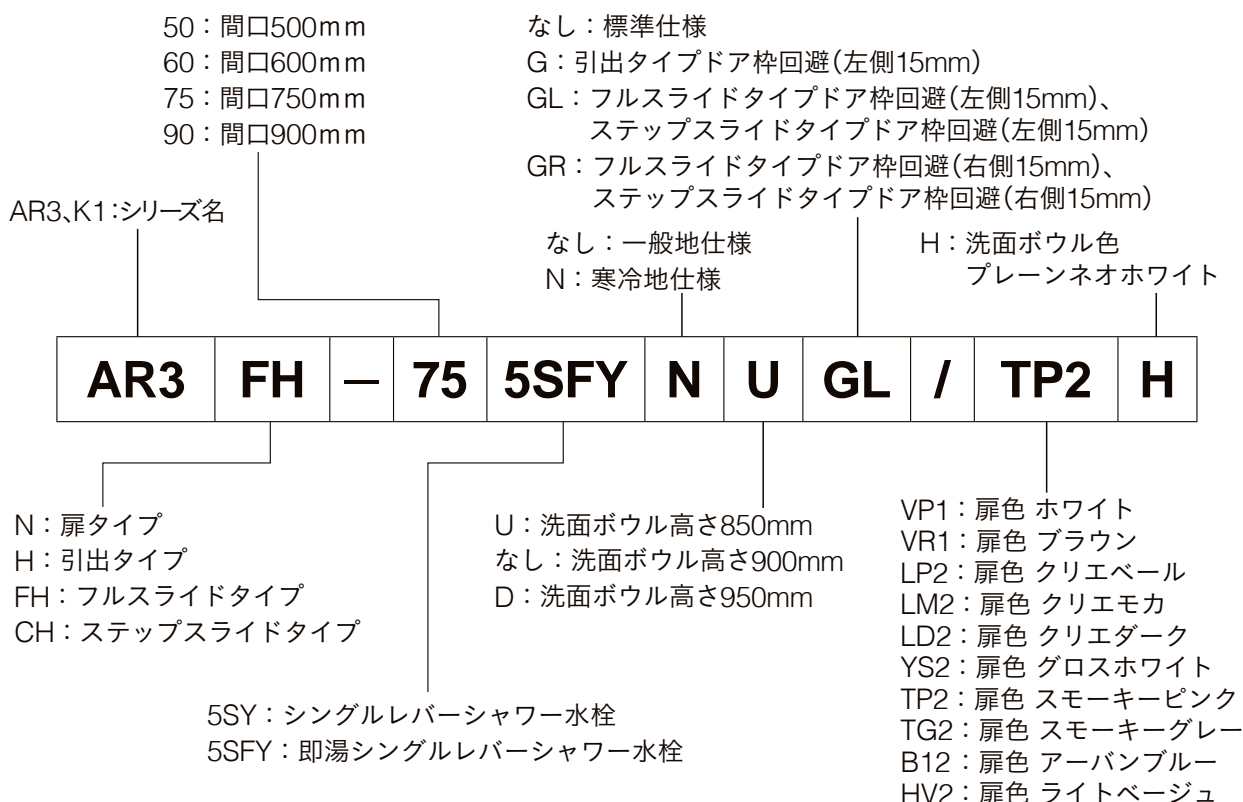
- 品番表示ラベルは、お問い合わせ・部品交換の際に必要な情報のため、製品に貼り付けた状態で使用してください。
- 水栓金具の品番表示ラベルは、水栓金具に貼っています。水栓金具の詳細は、水栓金具取扱説明書を確認してください。

仕様

化粧台本体の品番一覧

間口(mm)		500	600	750	900
品番	扉タイプ	AR3N-505S(F)Y(N) K1N5-505SY(N)	AR3N-605S(F)Y(N) K1N5-605SY(N)	AR3N-755S(F)Y(N) K1N5-755SY(N)	AR3N-905S(F)Y(N)
	引出タイプ	-	-	AR3H-755S(F)Y(N) K1H5-755SY(N)	AR3H-905S(F)Y(N) K1H5-905SY(N)
	フルスライドタイプ	-	AR3FH-605SY(N)	AR3FH-755SY(N) K1FH5-755SY(N)	AR3FH-905SY(N)
	ステップスライドタイプ	-	-	AR3CH-755SY(N)	AR3CH-905SY(N)
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)		500×540×950	600×540×950	750×540×950	900×540×950
水栓金具		シングルレバー水栓			
排水金具		ポップアップ式排水栓 ヘアキャッチャー付			
本体		木組構造(合板、パーティクルボード、MDF)			
洗面ボウル		人工大理石(ポリエステル樹脂系)			
洗面ボウル容量		12L	16L	20L	24L
扉色		VP1:ホワイト VR1:ブラウン LP2:クリエベール	LM2:クリエモカ LD2:クリエダーク YS2:グロスホワイト	TP2:スモーキーピンク TG2:スモーキーグレー B12:アーバンブルー	HV2:ライトベージュ
付属品		排水トラップ、排水アダプター、排水プレート、高さ調節用スペーサーセット			

化粧台本体の品番の見方



仕様

その他のキャビネット(共通項目)

本体	扉色		
木組構造 (合板、パーティクルボード)	VP1：ホワイト* VR1：ブラウン* LP2：クリエペール HV2：ライトベージュ	LM2：クリエモカ LD2：クリエダーク YS2：グロスホワイト	TP2：スモーキーピンク TG2：スモーキーグレー B12：アーバンブルー
※トールキャビネット(オープンランドリータイプ)は、VP2：ホワイト、VR2：ブラウン			

品名	品番	サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	付属品
アップーキャビネット	ARU-155C K1U2-155C	150×490×400	—
	ARU-255C	250×490×400	—
	ARU-305C	300×490×400	—
	ARU-455C	450×490×400	—
	ARU-605C K1U2-605C	600×490×400	—
	ARU-755C K1U2-755C	750×490×400	—
	ARU-905C K1U2-905C	900×490×400	—
アップーキャビネット(間口調整付)	ARU-655FL(R)	650～710×490×400	—
	ARU-755FL(R)	750～810×490×400	—
アップーキャビネット(ダウン機構付)	AR1U-605W	600×490×400	—
	AR1U-755W	750×490×400	—
	AR1U-905W	900×490×400	—
ミドルキャビネット	ARK-252C	250×225×400	棚板(1枚)
ランドリーキャビネット(間口調整付)	ARK-652FL(R)	650～710×225×400	棚板(1枚) タオル掛(1個)
	ARK-752FL(R)	750～810×225×400	棚板(1枚) タオル掛(1個)
ランドリーキャビネット	LCVKO-652	650×208×400	タオル掛(4個)
	LCVKO-752	750×208×400	タオル掛(4個)
	KKO-652	650×208×400	タオル掛(4個)
	KKO-752	750×208×400	タオル掛(4個)
トールキャビネット(標準タイプ)	ARS-255 ARSJ-255T ARSL-255H	250×490×1900	棚板(2枚)
	ARS-305 ARSJ-305T ARSL-305H	300×490×1900	棚板(2枚)
	ARS-455 ARSJ-455T ARSL-455H	450×490×1900	棚板(2枚)
	ARS-255 ARSJ-255T ARSL-255H	250×490×1900	棚板(2枚)
	ARS-305 ARSJ-305T ARSL-305H	300×490×1900	棚板(2枚)
	ARS-455 ARSJ-455T ARSL-455H	450×490×1900	棚板(2枚)

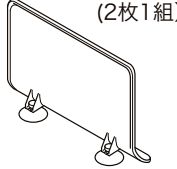
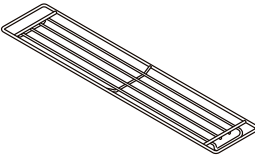
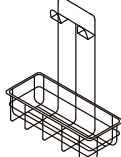
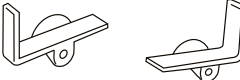

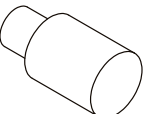


品名	品番	サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	付属品
トールキャビネット(ランドリータイプ)	AR1S-305DL(R) AR1SJ-305SL(R) AR1SL-305D	300×490×1900	棚板(2枚) 網カゴ(1個) タオル掛(1個)
	AR1S-455DL(R) AR1SJ-455SL(R) AR1SL-455D	450×490×1900	棚板(2枚) 網カゴ(1個) タオル掛(1個) 体重計収納
トールキャビネット(姿見タイプ)	ARS-305ML(R)	300×490×1900	棚板(2枚) 網カゴ(3個)
トールキャビネット(オープンランドリータイプ)	AR3S-155S K1S-155S	150×490×1900	ラック(1個)

※高さ対応(+50mm)：本体品番末尾「-U」

※高さ対応(-50mm)：本体品番末尾「-D」

オプション品・交換部品

オプション品・交換部品

品名	シャワースクリーン ※ピアラ専用品	ウェットパレット	ラック (ツールキャビネット用)	L型収納パック用 棚受け(4個入り)
品番	BB-AR3	BB-AR4	BB-AR2-R	JBS-544
主な材質	HIPS樹脂	ステンレス・チューブ付	ステンレス・チューブ付	—
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	400×66×202	439×90×18	394×550×128	55×10×25
外観	 (2枚1組)			
品名	ヘアキャッチャー	棚ダボ(4個入り)	扉裏ポケット	排水栓パッキン
品番	LF-GJ-HC	BTD-1-S	BB-TUS	LF-MV-HSPK
主な材質	—	ブロンズメッキ	PP樹脂	エチレンプロピレンゴム
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	68×68×80	6×16	157×108×152	外寸φ66.6、内径φ48.2
外観				

※仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

購入方法

交換部品の名称と品番をご確認ください。

※名称・品番が不明のときは、当社お客さま相談センターにおたずねください。

「リクシルストア」にてご購入ください。

※交換部品やオプション品、アクセサリなどお取り扱いしています。

※店舗での購入をご希望の場合は、当社商品の取扱店にてお求めください。

インターネットからご注文
「リクシルストア」で検索



お電話でお問い合わせ

 **0120-126-015**

受付時間 9:00～17:00

(土日祝・ゴールデンウィーク、年末年始、夏期休暇を除く)

廃棄について

●洗面化粧台、その他のキャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番：ピアラ、K1シリーズ		取付日	
保証期間	取付日より 2 年	年	月 日
お客さま	おなまえ	取扱店名	
	おところ		
	おでんわ () -		
TEL () -			

お客さまへ

- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合。
 - 取付説明書などに基づかない取付けに起因するキズや破損・その他の不具合。
引渡し時に申し出の無かったもの。
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合。
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合。
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合。
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合。
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合。
 - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合。
 - 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷。
 - 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合。
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象。
 - 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障及び損傷。
 - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷。（※水道水とは、水道事業者が供給する上水をいう。）
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷。
 - 給水・給湯配管の錆、砂やゴミなどの異物の配管内流入及び水アカ固着に起因する不具合。
 - ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合。
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合。
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は(本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

LIXIL修理受付センターへ

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間/9:00～19:00

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス

<http://www.lixil.co.jp/>

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。

